

8. 「遊ぶことの大切さ」

2006年7月1日 社会福祉法人 江刺保育園

子どもたちを、一人前の人間にする最も大切な体験は、心から楽しむ遊びによって育みます。お母さんが歩き始めた子どもにたいしての「じょうず、じょうず！」などの優しい声がけや、「高い、高い」などの触れ合いが、最初の遊びだと思いますが、この何でもないようなことが、人間関係の大切な基礎になります。乳幼児期の子どもたちは、自分の喜びを、ほかの人にも喜んでもらえることが、とても嬉しいのです。自分の笑顔に答えてくれる誰かがいること、自分は一人ではなく、誰かから愛されているというのを、遊びを通して体験します。そして、自由に歩くことが出来るようになると、友達と遊ぶ機会が増えてきますが、1、2歳のころは直ぐにケンカになってしまいます。それは、自分の自由にならないからです。お互いが自分の思い通りに遊びたいので、ケンカになってしまいます。しかし、しばらくすると、お互いに楽しいと思える部分を見つけ出すことが出来ます。それが、だんだん大きく広がり、仲良く遊ぶことが出来るようになります。このころの子どもたちはケンカしても、すぐに何事もなかったかのように、また遊ぶことが出来ます。この遊びの中で、子どもたちは大切なことを学習します。それは自分以外にも、子どもがいるということ、そして、その子も自分と同じようにわがままな子どもであるということを知ることが出来ます。しかし、ケンカしながらも共通の遊びを見つけると、一緒に遊ぶほうが、ずっと楽しいことも発見します。このことは、子どもたちが、他者とのより良い人間関係を作るための大切な基礎になるのです。子ども時代は、部屋に閉じこもってビデオやゲームをしてはだめなのです。目で見、触って、たくさんの人と係わり合いながら実際に体験することがとても大切なのです。



岩谷堂小学校ボランティアクラブとの交流

「子ども時代の身体を使う遊びは、勉強よりも、ずっと大切な体験です。」

私たちが子どものときを思い出してください。自由に走り回れる、野原や川、そして、想像力を養ってくれた森や壊れかけた家がありました。今私たちのまわりは、子どもたちの遊び場が、本当に少なくなっていました。そして、遊んだり、ケンカしたりする友達も少なくなっていました。子どもたちのより良い成長を願うのであれば、子どもたちの自由で、思いのままに遊ぶことの出来る環境づくりを、真剣に考え実行しなければなりません。

子どもの成長や子育てに関して困ったとき、相談できる人が近くにいないとき、私たちにお電話下さい。直接お出でいただいてもかまいません。お気軽にご利用下さい。

江刺保育園では、園庭の開放、夏はプールの開放、行事の参加、子育て相談、セミナー、等を行っています。参加ご希望の方は下記の江刺保育園にお問い合わせ下さい。ホームページを作りました。保育園の行事やお知らせを載せています。こまめに更新しております。どうぞご覧下さい。

＜手作りのおやつ＞

かぼちゃもち（こども10人分）

- | | | | |
|---------|------|-------|--|
| 材料：かぼちゃ | 150g | 作り方：① | かぼちゃはゆでてつぶす。 |
| 白玉粉 | 200g | ② | ①に白玉粉を混ぜ、耳たぶくらいのかたさにこねる。（水分が足りない場合は水を加える。） |
| あおのり | 少々 | ③ | フライパンにうすくサラダ油をしき、両面を焼く。さとうとしょうゆをあわせたものにひたし、さらに両面を少し焼く。 |
| さとう | 大さじ2 | ④ | 焼けたら上にあおのりをちらす。 |
| しょうゆ | 大さじ1 | | |
| サラダ油 | 適量 | | |

奥州市江刺区男石1丁目3-5

社会福祉法人 江刺保育園 子育て支援事業

電話 0197-35-1522 ファックス 0197-35-1741

Eメール aihoiku@pup.waiwai-net.ne.jp

ホームページ <http://pup.waiwai-net.ne.jp/~esahoiku/>